

令和 7 年度事業計画

公益財団法人川崎市文化財団

令和 7 年度事業計画

目次

本編

I	財団本部事業	1
II	ミューザ川崎シンフォニーホール事業	8
III	川崎市アートセンター事業	10
IV	東海道かわさき宿交流館事業	20

資料編

I	ミューザ川崎シンフォニーホール事業	
	別紙 1	27
II	川崎市アートセンター事業	
	別紙 1～4	33
III	東海道かわさき宿交流館事業	
	別紙 1～2	37

川崎市文化財団の事業運営の基本方針

公益財団法人川崎市文化財団は、2025年3月に設立40年目を迎えました。これからも引き続き、その総合力と専門性を生かし、市民とともに文化芸術を創造し、誰もが自分らしく、生き活きと心豊かに暮らせるまちづくりに貢献していきます。

- 市民の文化芸術活動を振興し、川崎市における文化芸術の創造を促進するため、多様なジャンルの各種の文化芸術事業を実施します。
- 文化芸術施設の管理運営を通して、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供し、文化芸術の創造と発信、文化芸術活動の支援と協働を推進します。
- 夢や希望を与え、人のつながりを生む文化芸術活動を通じて、市民が生き活きと心豊かに暮らせるまちづくりを推進する川崎市の方針を実現する中核的な組織としての自覚を持って、財団全体の組織力を結集し、経営感覚に富んだ効率的な事業運営を行います。

I 財団本部事業

1 文化事業

(1) 文化振興事業

ア 文化情報事業

市民文化活動の活性化を図り、生き活きとした市民文化を育てていくための様々な文化活動情報の提供を行います。

(ア) 文化情報誌「かわさきアートニュース」の発行

文化財団が実施する各種事業に携わる文化人、文化団体のインタビュー記事や、市内の各種文化事業をお知らせする情報を発信します。読者が市内の文化芸術により愛着を持てる内容にリニューアルし、隔月発行します。

(イ) ウェブサイト等の運営

文化財団が実施する各種事業情報及び管理する施設情報をインターネット、SNSで幅広い年齢層へ発信し、広く文化活動の活性化を図ります。

(2) 芸術文化育成事業

市民に優れた文化芸術公演を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術文化を普及するための美術展、演劇の創作発表を支援します。

ア 芸能サロン

川崎能楽堂において、市民に優れた文化芸術公演を鑑賞する機会を提供します。

イ かわさき市民アンデパンダン展

(6月下旬～7月上旬)

芸術文化を普及するため、絵画・写真・書道の3部門による無審査方式のかわさき市民アンデパンダン展を開催します。



「かわさき市民アンデパンダン展」

ウ かわさき演劇まつり（演劇講座）（7月）

子どももおとなも楽しめる演劇を鑑賞する機会を市民に提供し、川崎市における演劇文化の振興・普及を支援します。かわさき演劇まつり実行委員会を中心として、プロの指導により演劇の基礎知識を楽しく学ぶ講座を開催し、川崎市内の演劇活動発展・普及を図ります。

エ 川崎郷土・市民劇

川崎の歴史上の人物や川崎の発展に寄与した人物をテーマに、市民が制作した演劇作品を市民と共に上演し、演劇文化の向上を図るとともに、まちづくりに寄与します。

第9回川崎郷土・市民劇「百年への贈り物ー川崎市誕生ものがたりー」公演
多摩市民館、幸市民館にて計5回公演

また、第10回以降の公演実施に向け、題材及び運営体制の検討をします。

（３）歴史文化事業

地域の歩みや移り変わりを伝える歴史的・文化的資源等を市民に紹介し、ふるさと意識の醸成と市民文化の振興を図る事業を行います。

ア 歴史ガイドパンフレット等の市民への提供

イ 歴史ガイドパネルの管理 既設パネル数146基

ウ 歴史ガイドパンフレット等を活用した見学会・講座等の実施

（４）古典芸能普及事業

川崎能楽堂において、日本の代表的な古典芸能である能楽の普及に努めます。

ア 夏休み能楽体験教室・鑑賞教室の開催

次代の市民文化活動の担い手となる小・中学生を主な対象として、能楽の講座、仕舞、謡、小鼓、大鼓、太鼓、笛等の実技体験と、わかりやすい解説を加えた能楽鑑賞からなる3日間の入門講座を開催します。（7月中旬～8月上旬）



「夏休み能楽体験教室 小鼓」



「夏休み能楽体験教室 仕舞」

イ 能楽教室の開催

能楽師が謡曲、仕舞、能囃子の笛、小鼓などの実技指導を行う能楽教室を月に2～3回（火曜日又は木曜日に）開催します。



「能楽教室 小鼓」

ウ 小学校向けワークショップの開催

各小学校に希望を募り、能楽堂を会場とした小学校高学年向けの能楽ワークショップを数回開催します。

(5) パラアート推進事業

障がいの有無に関わらず、共に文化芸術に積極的に取り組む機運の醸成及び障がい等のあるアーティストの人材育成に寄与することを目的として、次の事業を行います。

ア 展示プログラム

作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、ありのままの作品の魅力を感じてもらう展示会を開催します。

制作にあたっては、市内特別支援学校及び障害者福祉施設等に幅広く参加を呼びかけ、希望施設への事前出張指導を行い、開催期間中には、来場者の理解を深めるためのワークショップ等を開催します。(11月頃に連続11日間程度)



展示会「Colors かわさき展」

本展の前後には、より広く多くの方に作品を観ていただけるよう巡回展も行います。

また、作品をより気軽に発表・鑑賞できる場として、市内2箇所(川崎市生涯学習プラザ、川崎市青少年の家)で「パラアート作品常設展示」を行います。

イ ネットワークプログラム

パラアート関係者が抱える課題を解決するための研修や、関係者同士の交流やコラボレーションを促進するためのネットワーク会議等を開催します。(年2~4回程度)

ウ 公募・連携プログラム

(ア) 一般公募プログラム

障がいのある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むためのモデルとなる事業を発掘し、事業の成果を先行事例として広く発信することを目的に企画を募集します。

(公募4~5月、審査6月、事業実施6月~2月、事業報告会3月)

(イ) 連携プログラム

相談支援で寄せられた情報等をもとに、市域で活動している様々な団体等の取組と連携し、パラアートの普及啓発を行います。(通年)

エ ウェブサイト等での情報発信

パラアートの中間支援を目的に、ウェブページ「ぱらあーとねっと」及びSNSを通して、市内のパラアート関連情報を収集・発信します。

また、インターネット展覧会の開催、コンテンツ拡充や利用者拡大のための広報、ウェブアクセシビリティの向上等も図ります。



オ 相談窓口の開設、中間支援機能の調査・研究

パラアートに関する相談をネットワーク会議やウェブページ「ぱらあーとねっと」等で受け付け、可能な限り対応していきます。

また、日本芸術文化振興会が主宰する「アーツカウンシル・ネットワーク」に参加し、中間支援機能の強化につながる調査・研究を行います。

2 芸術文化事業

(1) 公演事業

日本の代表的な古典芸能である能楽の普及に努めます。

ア 川崎能楽堂定期公演

喜多流、観世流鍬仙会、観世流の各流派による能・狂言の定期公演を3回、狂言の定期公演を1回開催します。また、能楽をより理解し、楽しむための事前講座を開催します。また、新たな情報発信のあり方等について検討を進めます。

イ 能楽普及公演

川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）にて、能・狂言の公演を開催します。

(2) 美術展等開催事業

市民の創造的な文化活動を支援するための発表の場を提供し、地域の歴史文化に触れる機会を提供する展示事業を共同で開催します。

ア アートガーデンかわさき共同開催企画展

市民の創造的な文化活動の発表の場を提供し、身近な人々の作品を鑑賞することで文化活動の裾野を広げる事業として、12月に川崎市障害者作品展を市内の団体等との共同で開催します。

イ アートガーデンかわさき特別展示室事業（川崎浮世絵ギャラリー）

アートガーデンかわさき特別展示室では、「川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション」と称し、川崎在住で世界的な浮世絵コレクターである斎藤文夫氏の所蔵作品を常時展示しています。美術史に名を残す名品から地域にゆかりの作品まで、国内外で高い評価を受ける浮世絵の数々を間近に見ることができる良質な文化芸術体験の場を提供します。

また、木版画の摺り体験や複製版画の巡回展示など、浮世絵を身近に感じることのできる事業を展開します。

(ア)「新版画」後期展 令和7年3月20日（祝・木）～ 4月20日（日）

(イ)「浮世絵スター誕生」前期展 同 4月26日（土）～ 6月 1日（日）

(ウ)「浮世絵スター誕生」後期展 同 6月 7日（土）～ 7月 6日（日）

(エ)「浮世絵で旅する海と山」 同 7月12日（土）～ 8月11日（祝・月）

(オ)「芳年×清親×国周」前期展 同 8月16日（土）～ 9月15日（祝・月）

(カ)「芳年×清親×国周」後期展 同 9月20日（土）～10月26日（日）

(キ)「四季とファッション」前期展 同11月 1日（土）～11月30日（日）

(ク)「四季とファッション」後期展 同12月 6日（土）～12月24日（水）

令和8年1月 5日（月）～ 1月18日（日）

(ケ)歌川広重「名所江戸百景」前期展 同 1月24日（土）～ 2月23日（祝・月）

(コ)歌川広重「名所江戸百景」後期展 同 2月28日（土）～ 4月 5日（日）



「浮世絵ギャラリー入口風景」



「浮世絵ギャラリー 展示風景」

3 文化施設運営事業

(1) 川崎能楽堂管理運営事業

市民団体等が能楽を中心とした芸術文化活動を鑑賞、学習、発表する場として、川崎能楽堂を提供します。

(2) アートガーデンかわさき管理運営事業

市民団体等が各種美術作品等を発表し、市民等が鑑賞するギャラリーとしての利用に供します。

(3) 新百合トウェンティワンホール管理運営事業

ア 新百合トウェンティワン地下2階にある多目的ホール、会議室、研修室等を市民団体等の創造的な文化活動を支援する場、文化芸術を発信する場及び絵画展、写真展等のギャラリーの利用に供します。

イ 新百合トウェンティワンホールにて市民に優れた文化芸術に接する機会を提供します。

(ア) アルテリッカ演芸座

(5月：川崎・しんゆり芸術祭2025の参加公演)

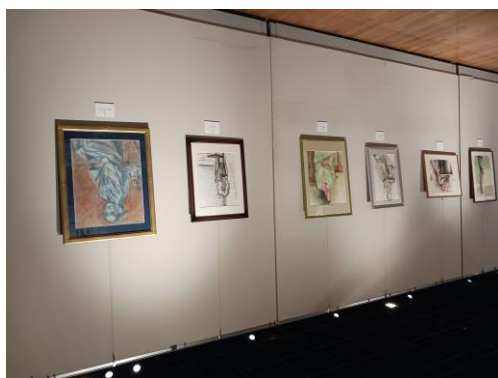
(イ) こども狂言教室(12月～3月)



令和5年度「口真似」

(ウ) アルテリッカ新ゆり美術展

(3月：アルテリッカ新ゆり美術展2026実行委員会との合同主催)



「アルテリッカ新ゆり美術展2024」

(4) ラゾーナ川崎プラザソル管理運営事業

JR川崎駅に隣接する大型商業施設ラゾーナ川崎プラザの5階に位置する多目的ホールを管理運営し、演劇公演や音楽コンサート、伝統芸能などの多様な文化芸術活動の発信・発表の場として、市民がさまざまな芸術文化に触れていただく機会の創出と、会議や商品展示会など、身近に利用いただける空間を提供します。

ア さまざまな利用方法に対応できる多目的ホールとして、自由なレイアウトと、充実したLED舞台照明設備や、豊かな経験と技術力を持つスタッフ陣のサポート体制により、プロによる文化芸術活動から地域や学校のサークル活動や、展示会、各種イベントまで、利用者の幅広い要望にお応えできる管理運営を行います。



市制100周年記念事業 若手演劇人による
プラザソル演劇公演「メモリーがいっぱい」

イ 伝統芸能・芸術文化の発信事業として、文化財団主催の落語会「ラゾーナ寄席」を毎月第3火曜日の夜に開催します。平成24年の開始以来、令和7年6月で満13年を迎え、開催回数は150回を数えます。150回記念を捉えた情報発信に取り組むとともに、引き続き毎回一流の落語家をお招きして、日本の伝統芸能である落語に、身近に親しみ楽しんでいただけるひと時を提供していきます。

4 共催事業

(1) 第50回記念 川崎大師薪能 (5月)

川崎の初夏の風物詩として市民の方々に長年に亘り親しまれてきた川崎大師薪能を川崎大師平間寺（特設舞台）において実行委員会と共同開催します。



「第48回 川崎大師薪能」

(2) かわさきジャズ2025 (9月～11月)

国内外で活躍するアーティストによるホール公演をはじめ、人材育成プログラムや市内各所での公募フリーライブ、地元企業とのタイアップ企画、小学校でのワークショップ等、ジャズを軸とした総合フェスティバルを実行委員会と共同開催します。

(ホール公演開催予定会場)

ミューザ川崎シンフォニーホール、新百合トウェンティワンホール、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、CLUB CITTA、川崎市スポーツ・文化総合センター、川崎市アートセンター



「かわさきジャズ プラザソル公演より」

5 その他

「音楽のまち・かわさき」推進協議会 事務局運営

音楽によるまちづくりを推進するために設置された産官学連携による協議会の事務局を文化財団内に置いています。

令和7年度は重点事業として、公共空間の音楽利用に係る環境整備に取り組むほか、令和6年度に実施した周年事業のレガシーを活かし、クリエイティブな音楽ワークショップの取組を進めていきます。

(1) 人材育成、調査及び交流の場づくり事業

市内の音楽資源や人材を積極的に活用するとともに、「音楽のまち・かわさき」がさらに広まる取組として、音楽大学生、ストリートミュージシャン等への出演機会の提供や交流の場づくり、関連産業の振興につながるさまざまな事業を行います。

(2) 情報発信事業

市民や多くの音楽ファンに向けて身近な音楽関連の地域情報を、音楽情報紙「カワサキミュージック プチ マガジン」やテレビ、FMラジオ、インターネットホームページなど、さまざまな媒体を活用して効果的に広く発信できる事業に取り組みます。

また、「音楽のまち・かわさき」のマスコット「かわさきミュートン」を通じ、親しみやすい「音楽のまち・かわさき」のPRに取り組みます。

(3) 音楽イベントの実施、協力・後援事業

「音楽のまち・かわさき」推進協議会が主催するイベントのほか、市内における音楽のイベント、公演などに積極的に参画し、ボランティアの育成や活動を支援するとともに、市内で開催されるさまざまな音楽イベントへの後援、協力を行います。併せて市内外に向けたイベントの情報発信・情報提供などに取り組みます。



「アジア交流音楽祭2024」



「おんまち・みぞのくちライブ」



「8小節プロジェクト わたしのかわさきのうた」



「手づくり楽器&リズム遊びワークショップ」

Ⅱ ミューザ川崎シンフォニーホール事業（指定管理者事業）

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者である「川崎市文化財団グループ」は、当財団、(株)シグマコミュニケーションズ及びサントリーパブリシティサービス(株)の3者で構成するもので、当財団はグループの代表者として事業を実施します。

令和7年度は、第4期指定管理期間の6年目として、最高の音楽芸術活動の場であり聴衆と演奏家にとって魅力のあるホールであること、芸術文化活動を通して地域に貢献し、「音楽のまち・かわさき」のシンボルとして「音楽ですべての人がつながるまち～共生社会の実現～」を目指すべく、クラシック音楽を中心に幅広いラインナップにて芸術創造・発信を行い、音楽を通して市民生活の豊かさを提供し、市民と共にミューザ川崎シンフォニーホールをつくり、充実した公演事業を展開していきます。

特に令和7年度は、ミューザの5つの基本方針「頂点」「広がり」「未来」「まちのシンボル」「多様性」の中から「未来」を重点テーマとして運営を行ってまいります。

また、わが国の文化のけん引役として芸術創造・普及啓発・人材育成の各事業を総合的に進めてまいります。

1 音楽文化振興事業

別紙1

(1)「フェスタサマーミューザKAWASAKI 2025」をはじめとする、ミューザ川崎シンフォニーホール企画コンサート等の開催

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者として、川崎市フランチャイズ・オーケストラである東京交響楽団との共同企画によるホール看板事業の「名曲全集」、クラシック音楽のすそ野を広げることを目的としたホールシンボル事業の「フェスタサマーミューザKAWASAKI」、市民の誇りとなる海外オーケストラ公演、ホールアドバイザーによる企画公演など、多彩なジャンルの公演を開催する他、ホールファンの拡大を目的としたホール魅力アップ事業の「ランチタイムコンサート」「スペシャル・ナイトコンサート」等、クラシック音楽やアコースティック音楽を中心とした日本を代表するコンサートホールとしての事業展開を図ります。



また、市民の晴れ舞台としての発表の場として、市民参加型事業を実施することにより、音楽の素晴らしさと演奏の喜びを味わう機会を提供します。

※予定事業 別紙1のとおり

主催・共催公演予定数 78公演（ホール公演のみ）

(2) 普及啓発（教育プログラム）事業の展開

「こどもフェスタ」「子ども向けワークショップ」など、子どもたちが楽しみながら音楽に触れる機会を提供し、また、「ミューザの日」など、地域のホールとして親しみが持てるプログラムを展開することにより、子どもたちの感性豊かな心の成長と次代への音楽文化継承を進めてまいります。



(3) アウトリーチ事業の実施

川崎市内各地にて「音楽のまち・かわさき」を推進すべく、「出張サマーミューザ@しんゆり」や「ポップリ・コンサート」などアウトリーチ公演を実施します。



(4) 人材育成事業の展開

若手演奏家育成事業やインターンシップ事業、創発プログラムなどの展開により、音楽家や制作者の育成を進めてまいります。



(5) インクルーシブな環境づくり

川崎市が進める「かわさきパラムーブメント」と連携して、バリアフリー対策や障害者に対する理解促進など、誰もが文化芸術に親しめるホールを目指して環境づくりを推進します。

※(2)～(5) 予定事業 別紙1のとおり

事業数 15事業（音楽工房・アウトリーチ事業）

2 受託施設管理運営事業

・ミューザ川崎シンフォニーホールの運営

日本を代表するコンサートホールとして、また、市民に開かれた交流の場としてホールの機能を最大限に発揮し、安心・安全にご利用いただけるよう施設の適切な管理・運営を行います。

今年度、音楽ホールでは、貸館122公演（令和7年2月末現在）を予定しており、その他、音楽工房（市民交流室、企画展示室、練習室1～3、会議室1～3、研修室1～4）の運営など、市民の文化活動を支えてまいります。

Ⅲ 川崎市アートセンター事業（指定管理者事業）

川崎市アートセンターは、公益財団法人川崎市文化財団、昭和音楽大学グループ（代表者 学校法人東成学園 構成員 株式会社プレルーディオ）及び学校法人神奈川映像学園（日本映画大学）で構成する「川崎市文化財団グループ（代表者 川崎市文化財団）」が、指定管理事業者として、令和４年４月１日から令和９年３月３１日まで、事業運営と施設管理運営を担っています。

アートセンターは、地域の芸術・文化活動の創造発信及び交流の拠点として、日々多様な芸術活動の展開と鑑賞機会の提供に努めるとともに、芸術に関わる人材の発掘や育成など、芸術のまちづくりに寄与しているところです。

第４期指定管理の４年次目となる今年度におきましても、これまでの指定管理業務の実績を踏まえながら、多様化・複雑化するニーズに柔軟かつ迅速に対応するとともに、より効果的・効率的な事業運営と施設管理運営を推進してまいります。

１ 芸術文化事業

（１）舞台芸術等文化振興事業（小劇場） 別紙１

小劇場は、舞台芸術の発信（創る）、担い手の育成（育てる）、鑑賞機会の提供（楽しむ）を基本コンセプトとして事業を展開しています。

当劇場は客席の傾斜があり見やすく、音が反響しないことからセリフが聞き取りやすいなどの特徴を持った市内でも数少ない演劇公演に適した劇場空間です。

この特性を活かした演劇やミュージカル、気軽に楽しめる落語やジャズコンサートなど幅広いジャンルの舞台芸術や鑑賞事業に加え、ワークショップや市民劇団の活動、アウトリーチ活動といった参加・体験型の事業も実施します。

このような事業を展開することで、社会包摂の機能を担う公の文化施設として、多くの人が集い、感動と希望を与え、潤いと誇りを感じる心豊かな生活を実感いただけるよう、舞台芸術との出会いの場を提供してまいります。

また、今年度から小さなお子様をお持ちの方も気兼ねなく観劇していただけるように一部の公演で託児サービスを実施いたします。

ア しんゆりシアター

小劇場では、自ら企画・制作する公演事業を「しんゆりシアター」と名付け、地域の創造発信拠点となる地域劇場（リージョナルシアター）を目指し、事業を展開しています。

また、様々な舞台芸術作品の創造発信を通して、人々の生きていく様や地域社会の基本的な価値観を表現するとともに、子どもたちや高齢者、演劇を担う人材の発掘・育成に努め、地域の文化・芸術資源を活用しながら質の高い事業を引き続き実施いたします。

こうしたことから、しんゆりシアターでは広告協賛を募り、資金面からも演劇を応援し、また参画いただく取り組みを始めたところです。

（ア）しんゆりシアター（１０月公演）

プロの俳優及びスタッフを招き上演するプロデュース公演するしんゆりシアターはミュージカルとストレートプレイを１年ごとに交互上演するもので、今年度は、井原西鶴の著作を取材し、太宰独自の趣向を凝らした短編集「新釈諸国噺」から幅広い世代で楽しめる新作「人魚の海～新釈諸国噺より

～」（仮題）を上演します。時代を経て見逃され、忘れ去られたものはないかを問うことで、現代の私たちに欠けているものはないかを見極める企画です。

実力派のキャスト・スタッフを配し、脚本・演出は第30回読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞し、当劇場では「三人姉妹」、「桜の園」「人間ざらい～メランコリックな恋人 喜劇5幕～」、「女学者たち」に続き、5回目となる文学座の五戸真理枝氏が手掛けます。



しんゆりシアター音楽劇「ベッカンコおに」より（令和6年10月上演）

（イ）劇団わが町（11月公演ほか）

平成24年度にうまれた市民劇団・劇団わが町は、ふじたあさや氏が芸術監督を務め、12歳から84歳までのメンバー52名が所属しています（令和6年度現在）。団員は公演のスタッフ・キャストとしての活動に加え、しんゆりアウトリーチへの活動にも、サポートメンバーとして参加。鑑賞だけではなく「体験」というアプローチによって地域住民の舞台芸術に出会いを提供しています。

劇団わが町は、川崎市市制100年に際し、「わが町川崎を知る」をテーマに活動してきました。今年度は大正時代の川崎に残された歴史秘話を題材とした新作「和が町へ（仮題）」の上演を予定しています。劇団員の事前学習、出演やスタッフワークまで及ぶ活動は作品内容だけでなく、舞台芸術へのより深い理解につながります。



第14回公演 「夢ふる里～昔話の川崎へ～」より（令和6年11月上演）

イ 通年事業

地域とのつながりを重視し、企画や出演者にとどまらず、公演当日の運営も地域住民にボランティアスタッフとして参画いただいています。このことで、劇場を身近に感じ、文化芸術を支えているという意識を高める機会ともなっています。

また、リーズナブルな価格で楽しめる年間パスポートを用意したほか、若い方にも足を運んでいただくためU30のチケット区分を新設し、顧客獲得を目指しています。

(ア) しんゆり寄席（5回開催）

川崎南部・プラザソルの「ラゾーナ寄席」、北部の「しんゆり寄席」と南北同時に平成24年度にスタートした年5回の定番企画です。

しんゆり寄席は、世話人2名（共に川崎市在住）含め公演のたびに新進気鋭の落語家が入れ替わり出演するのが魅力となっており、中入り後には抽選会も行われます。

(イ) しんゆりジャズスクエア（5回開催）

平成24年度に生まれた年5回のジャズコンサートです。地元・昭和音楽大学とのコラボレーション企画なども取り入れて、プログラムの幅を広げており、11月公演はかわさきジャズの連携企画とします。

また、地元タウン誌を発行している事業者やイベントを企画している事業者も参画し、幅広いジャズ愛好家が定着し、チケットの販売も好調に推移しています

ウ その他の事業

(ア) アートセンターの資源である映像館と小劇場のコラボレーション企画として、「新美南吉になりたかった正八～南吉とキツネたち～」を実施します。

今年度は、川崎・しんゆり芸術祭2025のラインナップとして、ふじたあさや氏が構成・演出し、「ごんぎつね」の作家である新美南吉について、アニメーション映画、『劇場版ごんーGON, THE LITTLE FOXー』と彼の文学作品を通してフォーカスしていきます。

(イ) 川崎・しんゆり芸術祭2025のラインナップとして、今年度もインクルーシブ・ベイビーシアター「かぜのうた」を日本ベイビーシアターネットワークの協力によりリラックス公演(障がいや配慮の必要なお子さん対象公演)も含めて上演します。

(ウ) 川崎・しんゆり芸術祭2025のラインナップとして、あまんきみこ氏のロングセラー絵本「車のいろは空のいろ」を総合劇集団俳優館が舞台化。演出に名古屋で活躍する若手演出家を迎え、脚本ふじたあさや氏、演出八代将弥氏（16号室）で、家族で楽しめる舞台をお届けします。

(エ) 夏休みには「親子で楽しむ夏時間2025」と題して、質の高い児童・青少年演劇の鑑賞機会を提供します。国内外の児童劇を集める「りっかりっかフェスティバル」と連携し、セリフに頼らない表現のノンバーバル作品等を選定します。今年度は、成長することを祝うダンス作品「GRO」（デンマーク）を上演します。

なお、招へい元である（一社）エーシーオー沖縄と事業提携覚書を締結し、さらなる連携・協力を深めてまいります。

(オ) 劇場空間を使い、幅広い年齢層が参加できる「ミュージカルWS」と「ことばWS」を開催します。演劇体験だけではなく、演劇をツールとして、相互理解や助け合いの心を育む時間を提供します。

(カ) 平日の稼働の少ない劇場を活用して、気軽に演劇と出会いたい大人のみなさんがコンパクトな演劇体験をできるワークショップ企画、「ライフ×イロドリ『しんゆり ART LABO』」を立ち上げます。

(キ) 「しんゆりアウトリーチ」と題して、劇場を飛び出し、文化芸術を届けるべく、体験型アウトリーチ等を開催します。ワークショップで国内外での実績のある講師陣と劇団わが町のメンバーもサポートとして出かけていきます。



令和6年度のアウトリーチの様子

エ その他

(ア) アートセンターの運営方針に基づき、舞台芸術文化振興事業の企画・作品に関する助言を受け、円滑な運営に資することを目的に設置された劇場アドバイザー委員会での議論を踏まえ、地域住民がより利用しやすく、親しみを持っていただける劇場となるよう、魅力的な事業を実施します。

(イ) 令和8年1月から2月の約2か月間、音響設備置換工事等のため劇場が休館となることから、主催事業等の開催時期を組み替えます。また、この時期にアウトリーチや工房などを使ったワークショップを開催することで、文化芸術の発信を継続いたします。

(2) 映画・映像文化振興事業（映像館） 別紙2

ア 映像館映画上映事業

(ア) 映画上映事業

映像館には、35ミリ映写機が2台と昨年度置換した4K対応デジタルシネマプロジェクターが1台備わっています。また、音響設備も充実しており、通常のシネマコンプレックスなどの商業映画館では公開されにくい、日本を含む世界各地で作られた芸術的・文化的価値の高い名画、秀作を選定し上映するなど、他の施設では味わえない映画の楽しさや奥深さを市内外に発信し、「映像のまち・かわさき」を推進する拠点の一つとしての機能を引き続き担ってまいります。

映像館では、月曜日の休映日等を除くほぼ毎日、4本から5本の作品を入れ替え上映しており、特に、毎週水曜日はサービスデーとして割引料金を設定し、どなたにも楽しんでいただけるよう努めてまいります。

また、多彩な映画を、多くの方々に楽しんでいただくため、会員価格や「シネマニュース」の発送などの特典がある会員制度「アルテリオ・シネマ会員」を引き続き実施いたします。

なお、4月1日から、一般料金を2,000円、会員及びシニア料金などを1,300円とするなど200円値上げするとともに、年会費も500円値上げし1,500円といたします。

その一方で、学生料金を一律1,000円に値下げすることで、若い方たちに足を運んでいただける上映を心がけてまいります。

(イ) 上映支援事業

原則20名以上の団体に対し、シニア・会員価格で、その時期に上映している作品を、休映日などを利用して上映する団体鑑賞事業を実施します。

(ウ) バリアフリー上映事業

a 視覚障がい者（副音声ガイド）向け上映事業・聴覚障がい者（日本語字幕）向け上映事業

目の不自由な方のための施設内の録音室を活用して、副音声イヤホンガイドを制作し、音声ガイドをFM電波などで映像館内に発出します。また、耳の不自由な方に向けては日本語字幕を付けた上映を行うバリアフリー上映を行い、多様な鑑賞機会を提供することで、幅広い層に映画を楽しんでいただける環境づくりを進めます。

b フレンドリー上映事業

障害のある方や小さいお子さま連れの方にも、気兼ねなく映画をご覧いただけるよう、照明は通常より明るめに、音量は少し小さめに上映する事業です。

c 保育付き上映事業

昨年度から再開した上映中にお子様をお預かりする保育付き上映事業も引き続き実施いたします。

(エ) 放課後シアター

中学生、高校生を対象とした映画鑑賞および鑑賞後に映画について話をする事で理解を深める事業で、映像館スタッフがファシリテートを行います。

(オ) 映画タイムマシン

夏休みに親子で参加できる企画として、上映機会が激減している日本映画の過去の名作を、35ミリフィルムを含め上映する事業です。

イ 文化創造事業

(ア) ワークショップ事業

小学生を対象に、夏休みと春休みを中心にアニメーションやピンホールカメラ、映画制作、映画音楽制作、無声映画活弁などの「子ども向けワークショップ」を開催します。

また、社会人を対象に、撮影や編集の基本的な技術を習得するための「3分間ビデオ制作入門講座」を10回開催します。



令和6年度子ども向けワークショップの様子

(イ) トーク開催事業

上映作品などに関連した監督、スタッフやキャスト、評論家などをゲストに招いて、作品解説などのトークや講座、舞台挨拶を、映像館やコラボレーションスペースを使って開催します。

(ウ) その他の事業

「KAWASAKI しんゆり映画祭」との共催、「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり2025)」の一環としての企画上映、日本映画大学との共催による上映会を行うなど、地域や映像教育機関との共催・連携事業に組み込みます。

(エ) 新たな取組

新たな取組として、フランスで行われているような映画の鑑賞教育としてアートセンターでも展開します。小・中・高校生に学校またはクラス単位で映画を鑑賞し、作品をより深く理解するための教育プログラムに取り組んでまいります。

ウ 広報・宣伝事業

「シネマニュース」を毎月1回(約17,000部)発行し、公共施設や駅施設などへ配架するとともに、ホームページやX(旧Twitter)を始めとした各種SNS、メールマガジンを活用した広報活動を展開します。

また、独自に企画した特集上映ではチラシ、ポスター、鑑賞の手引きなどを作成し、情報提供と広報・宣伝に努めます。

こうした取組に加え、今まで情報が届いていなかった方にアプローチするとともに、学校や町内会・自治会との連携を強化するなど、来館者の増加につながる取組を進めてまいります。

エ 映画・映像制作支援事業

試写会、市民団体の上映会、大学などの教育機関で制作された作品の発表会等のニーズが高まっており、休映日に映像館の貸し出しを行ってまいりましたが、新たな受け皿としてこれらのニーズに応えるため昨年度試行的に実施した劇場を使っでの上映会を今年度も引き続き施行実施してまいります。

オ その他

アートセンターの運営方針に基づき、映画プロデューサー、一般社団法人コミュニティシネマセンター事務局長、都内映画館支配人、日本映画大学教授及び映画祭コーディネーターの5名からなる映画・映像事業企画・作品選定委員会を開催し、円滑な運営に資するため、映画・映像事業の企画・作品に関する助言を受けることとしています。

2 特定事業 別紙3

(1) KAWASAKI しんゆり映画祭

KAWASAKI しんゆり映画祭は、「しんゆり・芸術のまち構想」の一環としてスタートした「市民がつくる映画のお祭り」として、毎年秋に開催されるもの

で、今年度で31回を数えます。

アートセンターは、映画祭事務局と連携を密に図りながら、共催事業として施設の無償提供だけでなく、ガイダンスやボランティア研修をはじめ、企画・計画段階から助言や支援をすることで、地域に根差した映画祭を盛り上げてまいります。

(2) 川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり） 別紙4

川崎・しんゆり芸術祭は、例年4月から5月に開催される新百合ヶ丘駅周辺の施設を使って開催する総合芸術祭です。

アートセンターは、文化芸術機関や関係団体等で組織された主催者である実行委員会の一員として、事務局業務や各種調整業務等を担い、芸術祭全体の公演の事業計画の立案、予算及び決算、広報、アートボランティアとの連絡調整・研修等を行うとともに、公演の準備から公演当日の運営など、指定管理を担う川崎市文化財団グループ内で役割を分担し、芸術祭全般を担当します。

また、今年度は、「昭和100年」という節目の年を迎えることから、「今、生きる昭和」と題して、昭和の時代を顧み、将来に思いを致す機会となり、平和と繁栄を考える契機となるような魅力的な公演を提供します。

さらにこれまでのアンケート結果を分析することでプログラムなどの見直しを図り、多くの方に足を運んでいただけるよう努めてまいります。

なお、ボランティアや実行委員との連携を密にし、運営に携わる方々の負担とならないよう効率的・効果的な運営に努め、持続可能な芸術祭に向けて、引き続き見直しを進めてまいります。



川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2024

(3) アートボランティア育成事業「アート講座」

コロナ禍を経て、更なる活躍の場を求めるボランティアの意欲は高まる一方、少子高齢化により文化活動団体の人材不足といった課題は深刻度を増しています。このような中、年間1万人を超える住民の転出入がある麻生区において、芸術・文化に関わるボランティア活動をすることで、地域とのつながりを作ることは意義あることと考えています。

「つながる×つなげる～芸術＋ひと＋まち～プログラム」（アートボランティア育成事業「アート講座」）は、アートマネジメントに必要なノウハウを習得することで、芸術のまちを支える地域ボランティアの育成・発掘を目指す取組です。

今年度も引き続き、アートセンターが持つ劇場と映像館という資源を活用して、ボランティアに必要なスキルを高めるための実技と講義を行います。

3 管理運営事業

(1) 映画鑑賞券等の料金改定について

アートセンターでは、安価な料金で映画や演劇を楽しんでいただくため、お客様のニーズやライフスタイルに合わせたプログラムを提供するとともに、効率的な業務の執行やシステム化などを進め、コストの削減を図ってまいりました。

しかしながら、エネルギー・通信運搬費・人件費等など、諸経費上昇への対応、インボイス制度など諸制度の改正、築17年が経過した施設の修繕や更新など、安全で安心した施設を維持・管理のため、4月1日から、映画鑑賞料金等を改定せざるを得ないとの判断に至りました。

なお、改定後の料金は、以下の表のとおりです。

項 目	旧料金	新料金
一般	1 8 0 0 円	2 0 0 0 円
大学・専門学校生	1 4 0 0 円	1 0 0 0 円
会員・シニア	1 1 0 0 円	1 3 0 0 円
障がいをお持ちの方 付添の方	1 0 0 0 円	1 0 0 0 円
高校生以下	8 0 0 円	8 0 0 円
水曜サービスデー	1 1 0 0 円	1 3 0 0 円
パートナー50割（お二人で）	2 2 0 0 円	2 6 0 0 円
シネマ会員入会金	5 0 0 円	5 0 0 円
シネマ会員年会費	1 0 0 0 円	1 5 0 0 円

(2) 管理運営業務について

第4期指定管理期間も後半に入ったことから、これまで行ってきた事業の成果を顧み、ブラッシュアップすることで、訴求対象の谷間を埋める事業の展開など、赤ちゃんから高齢者まで来館いただけるよう、改めて公立文化施設としての意義を指定管理グループ内で共有してまいります。

その一方で、厳しい財政事情を鑑み、聖域なき見直しを図らなければ持続可能な事業展開が難しい状況となっています。そこで、事業や企画の成果を検証し、収益性や効率性に視点を置きつつ、多様なニーズへ迅速かつ適確に対応ができるよう、柔軟性のある執行体制を実現してまいります。

また、近隣の文化施設や地域の文化・芸術団体との連携・ネットワーク化を図り、舞台芸術と映像作品の鑑賞機会の提供、芸術文化の創造発信を通して、「しんゆり・芸術のまち」の拠点に相応しい施設として適切な管理運営を行います。

さらに、ハード、ソフトともに利用者の視点に立ったバリアフリーの取組を進め、「福祉のまちづくり条例」に適合した施設としてまいります。

また、多様性と社会包摂に係る「かわさきパラムーブメントのレガシー」の形成に向けた取組もあわせて推進していきます。

(3) コラボレーションスペースの有効活用について

コラボレーションスペースは、主に映像館及び小劇場で鑑賞される方の休憩場所としてご利用いただいているほか、夏休み・春休みのワークショップ事業や映画監督やキャスト等によるゲストトークの会場として活用しています。

今後もこれらの事業を継続して行っていくとともに、指定管理者応募時に提案した下記事項を着実に実施することで、文化活動を目的として活動する団体や個人のネットワーク構築の核となる場としての活用も図ってまいります。

ア 日本映画大学との連携によるトークショーの実施

イ 昭和音楽大学と日本映画大学のコラボ企画の実施

ウ 地域の芸術団体の情報交換と交流のためのスペースとしての活用

エ NPO法人しんゆり・芸術のまちづくりとの連携事業の実施

（４）映像編集室の有効活用について

映像編集室は、ハイスペックな機器を導入したため、初心者には操作が難しく、オペレーターが常駐していないため、当日の技術的な質問および使用の際のトラブルに関して即応できないこと、ガラス張りで防音対策やプライバシーが確保されておらず、スペースも狭隘なことから、開館当初より利用件数が少ないことが課題となっています。

さらに昨今、急速に普及したパソコンやスマートフォンなどで動画編集も手軽にできるようになったことなどの理由から、令和３年度以降、利用がありませんでした。

こうしたことから、このスペースを有効に活用するため、地域の文化・芸術団体や市と検討を行い、コラボレーションスペースとの一体的な活用など、有効活用を図るための対応を進めてまいります。

（５）地域の文化活動団体のネットワーク形成事業について

麻生区の文化芸術関係の団体とのネットワーク形成に向けて、麻生区役所やNPO法人しんゆり・芸術のまちづくりが進める、「あさお芸術・文化交流カフェ」やコラボレーションスペースを活用して始めたあさお芸術・文化のまちコンシェルジュ「あさお・芸術のまちのひろば」との積極的な連携を進めてまいります。

さらに「しんゆり・芸術のまち」認証ロゴと連携した情報発信を引き続き促進いたします。

（６）お客様の声を管理運営に反映する取り組みについて

ア さまざまな機会アンケート調査を実施し、この分析を通してお客様の声を施設運営に活かしてまいります。

特に映像館に来館される方の８０％以上が会員やシニア、一般の方で、学生やお子様は１％に満たない状況となっています。将来の映画ファンだけでなく、アートセンターに足を運び、文化・芸術を身近に親しみ、文化・芸術のすそ野の拡大を図るため、小中学生や高校生、大学生の声を積極的に聴く取組を進めます。そのためには、小田急沿線の大学等だけでなく、これまで利用いただいた団体にも積極的に足を運び営業活動を展開してまいります。

イ これまで蓄積した経営に係る各種データや市・区などの行政が実施したアンケートなどを活用し、効率的・効果的な経営を進めます。

（７）アートセンターの認知度と新百合ヶ丘駅北口の賑わいの創出について

ア 郵便料金の値上げや市立学校の児童生徒・保護者への各種紙媒体でのイベン

トの周知が、「かわさきイベントアプリ」による配信に変更されることから、SNSや昨年度全面リニューアルしたホームページでの広報をはじめ、届けたい人・情報を欲しい方に確実に届くよう広報の在り方を見直します。

- イ 指定管理者評価委員会や川崎市文化アセス委員から良い事業を展開しているにもかかわらず、認知度が低いという厳しい意見を寄せられ、対応が求められています。アートセンターの商圈は小田急沿線ということもあり、川崎市南部・中部へのアプローチは難しいと考えていますが、「川崎市資産マネジメント第3期実施方針」においては、市に1か所設置され、広範囲の市民が利用可能な全市型施設と位置付けられています。こうしたことから、アウトリーチや川崎市文化財団が所管する他の施設、川崎市の文化・教育施設との連携した事業を展開し、知名度向上を図り、来館につなげる取り組みを展開してまいります。
- ウ コロナ禍を経て、人々のライフスタイルや働き方は大きく変化しました。このような中、施設利用に係るニーズに応えられるよう利用状況を的確に把握し、柔軟かつ効果的な運用を図り、今までアートセンターに足を運んでいただけなかった方にも、来館いただけるよう努めてまいります。

特に映画については、大学生・専門学生の料金の引き下げを契機に、映画や演劇を学ぶ学生やサークルなどに声がけをし、アートセンターへの来館を促す企画の提案をしてまいりたいと考えています。

- エ 昨年10月に麻生区で開催された「第68回車座集会」において、新百合ヶ丘駅南口側に比べて北口側は賑わいに欠けているとの意見が出されました。また、新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針（案）では、アートセンター周辺が「にぎわい核」の戦略的誘導エリアとなっていることから、アートセンターの施設内だけでなく、アートセンター前の公開空地や後背部の緑地・近隣の公園も活用した賑わいの創出に努めます。

（8）アートセンター会員組織について

アートセンターには、小劇場と映像館という2つの施設が併設されています。演劇も映画も双方ご覧になる方もいらっしゃいますが、多くはご自分の興味のあるジャンルにとどまっているのが現状です。これは昨年度劇団わが町の公演をご覧になった方へのアンケートで、アートセンターに映像館があることをご存じない方もいらっしゃったことから伺えます。こうしたことから、まずはアートセンターで行われている事業を知っていただくこと、興味を持っていただくことから会員制度創設に向けた環境を整えてまいります。

- ア 映像館で劇場をはじめ、アートセンターで行うイベントの告知映像コマercialを流します。

- イ 近年、映像館の貸館に係るニーズが高まっていることから、小劇場の利用が少ない平日に、劇場で映画の上映することで、小劇場の稼働率を上げるとともに、映像館の貸し出しニーズに対応します。

- ウ 小劇場と映像館のコラボレーション企画で、シネマ会員価格を設定し誘客を図ります。

- エ ホームページ・ブログ・SNSなどを使って映像館、小劇場の情報をその特徴を踏まえて発信するとともに、毎月発行しているシネマニュースに小劇場の情報を掲載するなど、シネマ会員に小劇場の情報を提供します。

オ 「アートセンター寄附制度」の創設を契機に「アートセンター会員組織」作りについて、議論を深めてまいります。

（９）市制１００周年を契機とした取組について

川崎市市制１００周年のレガシーとして、これまで、文化・芸術に関わってこられなかった方、関心が薄かった方の文化・芸術活動への参加を促すとともに、「芸術のまち・あさお」のまちづくりに巻き込んでいく施設となるよう努め、都市イメージの向上とシビックプライドの醸成に貢献してまいります。

Ⅳ 東海道かわさき宿交流館事業（指定管理者事業）

「川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ」（公益財団法人川崎市文化財団及び一般社団法人川崎市観光協会）は、開館以来「東海道かわさき宿交流館」の指定管理者となり、令和７年度は第３期指定管理者《令和５（２０２３）年４月１日～令和１０（２０２８）年３月３１日》の３年目となります。

当館は平成２５（２０１３）年１０月にオープンして今年度で開館１２年を迎え来館者数は延べ５０万人（２０２４年９月末現在）を超えました。

一昨年度は川崎宿起立４００年及び当館開館１０周年事業を、さらに、昨年度は川崎市市制１００周年を記念する様々な事業を展開しました。今年度は新たな出発の年と位置づけて、これからの東海道川崎宿を活かしたまちづくりを推進する事業を関連機関・団体と連携して積極的に実施するとともに、指定管理者として適正な管理運営に努めます。

また、東海道川崎宿の歴史文化を学べる場として、さらに市民相互の交流と地域活動を推進する拠点として、様々な事業を行うことを通じて、川崎市のまちづくりに寄与してまいります。

１ 施設利用の促進

（１）来館者への対応

来館者が、交流館において快適で充実した時間を過ごしていただくために、満足度の高い催しに努めるとともに、常におもてなしの気持ちを持った接遇を心掛けます。

交流館の１階は、お休み処「万年屋」や休憩コーナー等、まち歩きの人や地域の方が気軽に立ち寄り交流できるスペースとなっています。「万年屋」では大型ディスプレイを配置し川崎宿のガイドビデオを上映しています。休憩コーナーには、東海道川崎宿の模型を設置し、来館者へ昔の川崎宿の姿を見ながら休憩していただきます。また、川崎市に関連した書籍等を置き自由に閲覧していただくとともに、壁面を利用し、市民から提供された作品や川崎宿に関連する情報を掲出する等、来館者に対してホスピタリティをもった接遇に努めます。

（２）展示室（２階・３階）・集会室（４階）等の利用促進

多くの方に当館を訪れていただけるよう、常設展示室及び企画展の展示内容の充実強化を図ります。特に昨年度は川崎市市制１００周年記念事業として川崎市市民ミュージアムと共催して特別企画展「爆誕!!かわさき１００年物語」を開催しました。

また、２階の常設展示場へ川崎市市民ミュージアムが所蔵していた「大師道道標」の特別展示を令和６年６月から開始するなど展示内容を充実することができました。今年度も引き続き見ごたえのある展示となるよう取り組んでまいります。

また、４階の集会室及び談話室は、地域活動や市民交流等の多様な用途に利用できる有料の貸出施設です。引き続き市民の地域交流や市民団体の活動の場として活用いただけるよう、利用者のニーズに沿った利用し易い施設を目指します。



特別展示「大師道道標」

（３）利用者意見等の把握と改善

来館者の声を収集するアンケート用紙と投函箱を１階エレベーター前、休憩コーナー及び３階展示会場に設置しています。また、職員等が利用者から直接要望等を受けた場合には、業務日報にその旨を記入し職員間での共有を図ることにより、来館者の意見を反映した事業実施や運営の改善につなげます。

（４）施設の保守管理

施設の維持管理業務を委託している事業者が、設備等の保守点検や清掃・警備等を適正に実施しているか管理します。事業者とは日常的に連絡を取り合って、施設を常に良好な状態に維持することに努め、来館者へ安全安心な環境を提供します。

また、開館１２年目となり設備等の経年劣化が散見されることから、老朽化した設備等については適宜更新するとともに、川崎市と連携して施設の長寿命化を図ります。さらに、管理状況等を川崎市と情報共有し、必要な修繕等については協議し適正かつ迅速に実施します。

２ 常設展示事業

当館は、江戸時代の東海道川崎宿に関する情報を発信し、市域の歴史・文化に触れる機会を提供することを目的として設置されたことから、川崎宿の歴史的な成り立ちや理解を深めるための展示を行っています。また、交流館の特徴を十分認識し、市民の交流拠点として見ごたえのある展示事業を実施します。

さらに、地域をよく知る NPO 法人かわさき歴史ガイド協会の協力を得て、来館者が楽しく観覧できるよう展示の趣旨や見どころ等の地域情報を案内します。

3 企画展示事業

3階展示室において、地域の多様な歴史・文化を発信する交流館に相応しい内容の企画展を開催します。また、当館へ寄贈された作品の展示や歴史文化や東海道等に関連した活動を行っている団体等の展示事業の充実を図ります。(年3回以上)

(1) 定例企画展示

佐藤惣之助関連の展示や川崎市観光写真コンクール入賞作品展及び川崎ミニガイド展等の企画展示を行います。

(2) 特別企画展示

川崎市市民ミュージアム等の川崎市内の施設と共催した特別展や地域で活動している文化団体等と連携した企画展を開催します。

4 文化イベント事業

地域文化の振興と地域交流の推進を図るために、交流館を活用して各種文化イベントを開催します。

(1) 江戸時代の粋に遊ぶシリーズ

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会の協力を得て、江戸時代から続く芸能文化をわかりやすく紹介します。公演鑑賞に加えて、演者とナビゲーターとの対談や観客が芸を体験するコーナー等、楽しく学べて体験できる内容で開催しています。
(入場料1,500円程度 3回開催予定)



江戸吉原のお座敷芸

(2) 街道シリーズ講演会

「宿場・街道」をテーマとして歴史研究家、専門学芸員、郷土史研究家など各分野の著名な方々による講演会を開催します。(入場無料2回 開催予定)

(3) 前座・二つ目 お昼の落語

市民に人気のある交流館の名物企画となっています。前座・二つ目の落語家に出演してもらいます。市民が気軽に集い交流できる場として、また、若手の落語家の研鑽の場として開催します。(3回 開催予定)



二つ目の公演

(4) 講談 de 交流

お昼の落語とともに人気の高い企画です。前座・二つ目の講釈師に出演していただき、市民が気軽に集い交流できる場として、また、若手の講釈師の研鑽の場として開催します。(3回開催予定)

(5) 東海道かわさき宿寄席～アマチュア名人会～

社会人の落語愛好団体と連携して、アマチュア落語家による寄席を開催します。(3回開催予定)

※「お昼の落語」「講談 de 交流」「アマチュア名人会」の公演は入場希望者が多いため、現在、往復はがきで応募いただき、応募者多数の場合は抽選を行っています。

(6) 各種講座

川崎宿等について学べる講座や親子で歴史文化を楽しめる「親子体験講座」等を開催します。

5 共催・協力事業

地域活動、文化交流の場となるよう NPO 法人かわさき歴史ガイド協会等、地域で活動している文化団体等と共催・協力した事業を実施します。

(1) 東海道川崎宿を活かしたまちづくりへの協力

市民団体である「東海道2023」が役割を終えて解散したことから、これからの東海道川崎宿を活かしまちづくりに向けて、川崎区役所、町内会自治会、NPO 法人かわさき歴史ガイド協会や市民団体等と協力・協働した活動を行います。

(2) 市民団体が実施する事業への協力

例年開催している川崎宿佐藤本陣の末裔である詩人佐藤惣之助を顕彰する「酔花忌俳句大会」等の開催に協力します。また、市民活動団体が東海道に関連して実施するイベント等について支援します。

(3) 川崎関連講座の開催

川崎の歴史や文化を多角的に学び後世に伝えるための講座や座談会を川崎区役所や NPO 法人かわさき歴史ガイド協会及び市民アカデミー等と協力して川崎の歴史等を学ぶ場を提供します。

6 その他の文化事業

川崎市観光協会や地域事業者等と協力して川崎宿の魅力を発信する事業に積極的に取り組みます。

(1) 市内施設等と連携した文化事業

川崎駅周辺では公益財団法人川崎市文化財団が管理運営するミュージアム川崎シンフォニーホール、ラゾーナ川崎プラザソル、アートガーデンかわさき、川崎浮世

絵ギャラリーがあります。それらの施設や市内に点在する文化施設と連携して川崎市における文化事業を推進します。

7 まち歩き・にぎわいづくり等の事業

地域事業者や団体等が実施するまち歩きや街のにぎわいを促進する事業との連携協力を努めます。

（１）東海道川崎宿スタンプラリーの開催

2023年度から指定管理者である当館が事務局となりました。今年度も町内会、NPO 法人かわさき歴史ガイド協会等の地域団体と協力して実行委員会を組織して開催します。



東海道川崎宿スタンプラリー（稲毛公園）

（２）事業者と連携した取り組み

J R 東日本が主催する「駅からハイキング」等の事業者が実施する川崎駅周辺や川崎大師等の観光資源を活用した街歩きや街のにぎわいづくりの事業と連携した取り組みを実施します。

（３）市民団体と連携した取り組み

市民団体等が実施する東海道川崎宿を活かした街づくりや賑わいを創出する事業との連携を進めます。

8 地域・学校等との連携

地域に親しまれる施設を目指して、地域団体と連携協力して地域のまつりやイベント等に積極的に参加するとともに、小学校・中学校の児童生徒への歴史学習支援等を協働して実施します。



地元小学校児童の歴史学習

（１）東海道かわさき宿交流館運営委員会の開催

地域住民や関係機関等からの意見要望を、交流館の運営に取り入れるために、地域住民や関係機関等を構成員とした「東海道かわさき宿交流館運営委員会」を開催します。また、提案された意見要望については、できる限り交流館の企画運営に反映するよう努めます。

（２）学校等との連携

交流館を校外学習の場として活用していただけるよう近隣の学校等と連携して、次のとおり学習支援事業を実施します。

ア 市内の小学校の社会科見学授業の一環として、当館を利用していただけるよう社会科研究会などへ交流館の利用促進活動を行います。また、小学生が利用する際には、川崎の歴史に興味を持てるよう、学校、教育委員会等の協力を得て作成した児童向けの学習ワークシートや案内映像を活用します。

イ 中学生については、川崎の歴史を学ぶ施設として、また、職場体験学習・地域フィールドワークの場としての活用を図ります。

ウ 外国人留学生に、当館を利用していただけるよう地元の日本語学校などへ交流館の利用促進活動を行います。

（３）NPO 法人かわさき歴史ガイド協会との協力

地域住民が主体的に交流館事業に関わり、交流館を活用した文化振興やその他地域交流につながる活動を通じて、自らのやりがいを見出すとともに、地域の歴史と文化への理解が深まるよう、次の事業を実施します。

ア NPO 法人かわさき歴史ガイド協会のガイドが来館者への案内を行います。

イ NPO 法人かわさき歴史ガイド協会と協働して、川崎宿ガイドツアーを実施します。

ウ 東海道川崎宿に関連する市民団体の活動やイベントを支援・応援し、人材の育成とネットワークづくりに努めます。

エ 市民の交流を深め、多様な活動が発展するよう、情報発信や連携構築等の支援を行います。

（４）NPO 法人 歴史の道 東海道宿駅会議との協力

東海道宿駅会議は東海道五十七次の宿場の交流と情報交換を通じて、東海道の各宿場の街づくりに貢献する NPO として設立されました。当館も法人会員として、東海道の各宿場の情報を収集するとともに、当館の活動をアピールしています。

９ 情報収集・発信

（１）歴史文化資料・情報の収集・提供

ア 東海道川崎宿に関連する歴史文化に関する資料・情報等を収集・整理します。

イ 市民等が保有している川崎のまちの変遷を伝える写真や資料・情報等を収集・整理し、来館者のニーズに応える魅力的な展示を実現します。

（２）交流館ホームページ

交流館ホームページを活用し、交流館展示の魅力を紹介するとともに、イベント開催情報等を逐次発信します。タイムリーな情報更新により交流館利用者の拡大を図ります。また、ウェブアクセシビリティの向上を目指して改善を進めます。

(3) 外国人来館者（インバウンド）向けの対応

外国人来館者のために、英語、中国語等の多言語化を進めます。また、自動翻訳アプリ（グーグル等）を活用して、来場した外国人へ交流館の魅力を伝えます。

(4) その他広報等

次の広報活動を実施し、来館者の増加に努めます。

ア 交流館チラシ、ポスターを作成し川崎市情報プラザ等を活用して積極的な広報に努めます。

イ マスコミや地域のタウン誌等へタイムリーな情報を提供します。

ウ 街道をテーマとする市内外の施設と連携します。

エ 旅行企画会社等が主催する宿場巡りや街歩きのツアー等へ協力します。

10 物販事業

交流館 1 階のショップコーナーでは、東海道かわさき宿にふさわしい物、企画展の図録、江戸の粋を感じるグッズや川崎名産品等の川崎ならではの商品等を企画販売します。

11 その他サービス

利用者からの要望があるためサービス向上の一環として、事務所内の複写機を使用して有料でのコピーサービス（自主事業）を行います。

12 運営組織、職員配置について

館長は一般社団法人川崎市観光協会の職員をあて、その他の職員は公益財団法人川崎市文化財団の職員で運営を行います。

原則的には、事務室は館長、副館長、事業担当 1 名、庶務担当 1 名、経理補助 1 名の 5 名で事業内容に応じてシフトを組みます。また、受付 2 名、夜間 1 名を配置して適正な管理運営ができよう職員を配置します。

13 収支予算及び予算執行について

公益財団法人川崎市文化財団の規定に基づいて、適正に会計事務を執行します。

令和7年度 ミューザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演

【音楽ホール】

◆良質で魅力ある公演

OMUZAランチタイムコンサート (各回12:10開演)

●チューバ四重奏	4月8日(火)	全席指定 500円
●パイプオルガン×ヴァイオリン	5月13日(火)	
●ギター×ピアノ	6月17日(火)	
●フルート×オーボエ×ピアノ～東京交響楽団首席奏者～	7月15日(火)	
●マリンバ&パーカッション	8月19日(火)	
●パイプオルガン	9月9日(火)	
●ジャズ(ピアノトリオ)	10月21日(火)	
●日本伝統楽器アンサンブル	11月11日(火)	
●ハンドベル アンサンブル	12月9日(火)	
●パイプオルガン×カウンターテナー	2026年 1月20日(火)	
●ヴィオラ四重奏～東京交響楽団メンバー～	2026年 2月25日(水)	
●パイプオルガン×ピアノ	2026年 3月30日(月)	

OMUZAスペシャル・ナイトコンサート (各回19:00開演)

●ザ・ベース・ギャング・ナイト (コントラバス・カルテット)	11月6日(木) 19:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円
●小曽根真スペシャル	2026年 3月19日(木) 19:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円

OMUZA ワイン BAR (各回19:00開演/会場:ホール2階ホワイエ)

●ギター×ピアノ	6月17日(火)	全席自由 3,500円 ペア割 6,000円
●ジャズ(ピアノトリオ)	10月21日(火)	

Oオルガン・コンサート

●MUZAパイプオルガン クリスマス・コンサート2025 ～大木麻理&20人のトランペッターズ～ パイプオルガン:大木麻理/トランペット:佐藤友紀 他	12月20日(土) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円
●イヴ・レビシュタイナー パイプオルガン・リサイタル feat.宮本貴奈 パイプオルガン:イヴ・レビシュタイナー/ピアノ(ゲスト):宮本貴奈	2026年 2月21日(土) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円

◆音楽文化を創造する斬新な企画

O「フェスタサマーミュージアKAWASAKI 2025」

◆フェスタ サマーミュージア KAWASAKI 2025 ◆こどもフェスタ2025夏	7/26(土) ～8/11(月祝)	
---	----------------------	--

◆フランチャイズオーケストラと質の高い協働

○ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集（ホール・東響共催公演）（各回14:00開演）

●第206回 指揮:ジョナサン・ノット(東京交響楽団 音楽監督) ブルックナー:交響曲 第8番 ハ短調 WAB108	4月6日(日)	1回券 S 6,500円 A 5,500円 B 4,500円 C 3,500円 第206回・第212回・第213回は、 S 7,500円 A 6,500円 B 4,500円 C 3,500円 ※25歳以下当日学生券 1,000円
●第207回 指揮:下野竜也 スメタナ:連作交響詩「我が祖国」	5月17日(土)	
●第208回 指揮:ミケーレ・マリオッティ/ヴァイオリン:ティモシー・チューイ チャイコフスキー:幻想的序曲「ロメオとジュリエット」 チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35 プロコフィエフ:バレエ音楽「ロメオとジュリエット」から「モンタギュー家とキャピュレット家」 「少女ジュリエット」「マドリガル」「メヌエット」「仮面」「ロメオとジュリエット」「タイボルトの死」	6月14日(土)	
●第209回 指揮:ユベール・スターン(東京交響楽団 桂冠指揮者)/ピアノ:上原彩子 ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」op.9、ラヴェル:ピアノ協奏曲 ト長調 ビゼー:「アルルの女」第1組曲、第2組曲	7月5日(土)	
●第210回 指揮:沼尻竜典/チェロ:上野通明 ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調 op.104 ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」	9月6日(土)	
●第211回 指揮:スザンナ・マルツキ ベートーヴェン:交響曲 第6番 ヘ長調 op.68「田園」 ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」	10月12日(日)	
●第212回 指揮:ジョナサン・ノット(東京交響楽団 音楽監督)/笙:宮田まゆみ 武満徹:セレモニアル、マーラー:交響曲 第9番 二長調	11月23日(日祝)	
●第213回 指揮:調整中/ソプラノ:三宅理恵 アルト:花房英里子/テノール:山本耕平/バス:妻屋秀和/合唱:東響コーラス ワーグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲 ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付き」	12月6日(土)	
●第214回 指揮:大植英次/ピアノ:清水和音 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」 ベートーヴェン:交響曲第7番 イ長調 op.92	2026年 1月17日(土)	
●第215回 指揮:川瀬賢太郎/ピアノ:牛田智大 モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲 K.492 モーツァルト:ピアノ協奏曲 第26番 二長調 K.537「戴冠式」 メンデルスゾーン:交響曲 第4番 イ長調 op.90「イタリア」	2026年 2月1日(日)	

○モーツァルト・マチネ(全4回) (各回11:00開演)

●第61回 ファゴット&指揮:ソフィー・デルヴォー／管弦楽:東京交響楽団 ≪オール・モーツァルト・プログラム≫ 歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』序曲 K.588、ファゴット協奏曲 変ロ長調 K.191 交響曲 第40番 ト短調 K.550	5月3日(土祝)	
●第62回 指揮:指揮:ジョナサン・ノット(東京交響楽団 音楽監督) ソプラノ:森野美咲／フルート:竹山 愛(東京交響楽団 首席フルート奏者) オーボエ:荒木良太(東京交響楽団 首席オーボエ奏者)／管弦楽:東京交響楽団 リゲティ:フルート、オーボエと管弦楽のための二重協奏曲 リゲティ:歌劇『ル・グラン・マカーブル』から「マカーブルの秘密」 モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」	9月21日(日)	全席指定 4,000円 U25 1,500円 4回セット券 12,800円
●第63回 ピアノ&指揮:小菅 優／管弦楽:東京交響楽団 藤倉 大:ピアノ協奏曲 第3番「インパルス」(アンサンブル版) モーツァルト:ピアノ協奏曲 第25番 ハ長調 K.503	11月29日(土)	
●第64回 指揮:原田慶太楼(東京交響楽団 正指揮者)／ヴァイオリン:成田達輝／管弦楽:東京交響楽団 ≪オール・モーツァルト・プログラム≫ 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲 K.527、交響曲 第4番 ニ長調 K.19 ？？？(ミステリーピース)、交響曲 第31番 ニ長調 K.297(300a)「パリ」 ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ長調 K.211	2026年 2月14日(土)	

◆市民の誇りとなる公演

○海外オーケストラ公演

●パリ管弦楽団 指揮:クラウス・マケラ サン＝サーンス:交響曲 第3番「オルガン付き」、ベルリオーズ:幻想交響曲	6月18日(水) 19:00開演	S:35,000円 A:30,000円 B:25,000円 C:20,000円 D:15,000円
●ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 指揮:クラウス・マケラ R.シュトラウス:交響詩「ドン・ファン」、マーラー:交響曲 第5番	11月16日(日) 17:00開演	S:38,000円 A:33,000円 B:27,000円 C:21,000円 D:15,000円
●ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 指揮:キリル・ペトレニコ シューマン:「マンフレッド」序曲、ワーグナー:ジークフリート牧歌 ブラームス:交響曲第1番	11月22日(土) 開演時間 15:00開演	S:50,000円 A:47,000円 B:44,000円 C:40,000円 D:35,000円 E:30,000円
●スイス・ロマンダ管弦楽団 <共催> 指揮:ジョナサン・ノット／チェロ:上野通明 オネゲル:交響的運動 第2番「ラグビー」、ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲 第1番 ストラヴィンスキー:バレエ音楽「ペトルーシュカ」(1911年版)	7月8日(火) 19:00開演	S:20,000円 A:16,000円 B:13,000円 C:11,000円 D:7,000円

○スペシャル・コンサート

①ホールアドバイザー企画公演

●ホールアドバイザー秋山和慶&宮本貴奈企画 「オーケストラで楽しむ映画音楽XVI」 指揮:大井剛史/ピアノ:宮本貴奈/ナビゲーター:中井美穂 ヴォーカル(ゲスト):May J./トーク(ゲスト)&編曲:三浦秀秋 ベース:パット・グリーン/ドラムス:デニス・クレーゼ/管弦楽:東京交響楽団 J.ウィリアムズ:スーパーマン・マーチ(『スーパーマン』) ムソルグスキー:禿山の一夜(『ファンタジア』) ベルリオーズ:幻想交響曲から第5楽章(『シャイニング』) 〈トーク〉宮本貴奈&三浦秀秋presents 怖い音特集 伊福部昭:SF交響ファンタジー第1番(『ゴジラ』他) 〈トーク〉宮本貴奈&三浦秀秋presents アニメに出てくる楽しい音特集 ジャズ・トリオで贈る、昭和のアニメ作品(宮本貴奈編) D.バートン(宮本貴奈編):『ボディガード』から「オールウェイズ・ラブ・ユー」 B.パセク&J.ボール(三浦秀秋編):『グレイテスト・ショーマン』から「This Is Me」、「Never Enough」 J.ハーウィッツ(宮本貴奈編):『ラ・ラ・ランド』メドレー	4月19日(土) 15:00開演	S:7,000円 A:6,000円 B:5,000円 C:4,000円 U25 各席半額
●ホールアドバイザー松居直美企画 言葉は音楽、音楽は言葉 Vol.7 「J.S.バッハ:オルガン小曲集プロジェクト I」 パイプオルガン:松居直美、三浦はつみ、徳岡めぐみ、ジャン＝フィリップ・メルカールト 勝山雅世、川越聡子	10月25日(土) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円
●ホールアドバイザー小川典子企画 小川典子ピアノ・リサイタル「三大B」～ベートーヴェン・ブラームス・バルトーク～	2026年 2月28日(土) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円

②その他の公演

●かわさきジャズ2025	10月29日(水) 開演時間: 調整中	調整中
●MUZAジルベスターコンサート2025 指揮:調整中/管弦楽:東京交響楽団 他	12月31日(水) 15:00開演	S:7,000円 A:6,000円 B:5,000円 C:4,000円 U25 各席半額
●第12回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	2026年 3月11日(水) 開演時間: 調整中	全席指定 1,000円

◆市民の晴れ舞台としての発表の場

●ミューザ川崎市民合唱祭 2025	6月28日(土) 29日(日) 各回10:30開演	全席自由 無料
●ミューザ川崎市民交響楽祭 2025	8月31日(日) 14:00開演	全席指定 A:1,500円 B:1,000円
●ミューザ川崎市民吹奏楽祭 2025	10月13日(月祝) 第1部 10:30開演 第2部 14:30開演	全席指定 前売券:700円 当日券:800円 (第1部、第2部入替え制)
●プラチナ音楽祭 2025 <共催>	9月13日(土) 調整中	全席自由 無料
●交流の響き in かわさき 2025 <共催>	9月20日(土) 14:00開演	全席自由 無料

◆市内の音楽大学や音楽団体との連携

○音楽大学オーケストラ・フェスティバル（ミューザ川崎シンフォニーホール／東京芸術劇場共同企画）

●第16回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル （武蔵野音楽大学、東京音楽大学、洗足学園音楽大学）	11月30日（日） 15:00開演	全席指定 各1,500円 通し券（3公演） 3,600円
●第16回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル （東邦音楽大学、国立音楽大学）	12月7日（日） 15:00開演	
●第15回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ 指揮：ジョン・アクセルロッド、管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ	2026年 3月29日（日） 15:00開演	全席指定 2,500円

◆市文化施設・企業・商業施設や教育との連携、パラムーブメントの推進

○「ミューザの日2025」

●「ミューザの日2025」 7月1日はホールの開館記念日、そして川崎市の市制記念日。その2つの記念日をミューザ川崎シンフォニーホールでは「ミューザの日」として、フランチイズ・オーケストラ東京交響楽団のオーケストラ公演を中心に、音楽工房内の各種イベントなど、「音楽のまち・かわさき」らしい楽しい日をミューザが演出します。 ・ホール公演「ウェルカム・コンサート」 ・音楽工房を利用したイベント実施 ・ミューザビル全館で行う企業や近隣の商業施設等の提供による様々なイベント など	7月1日（火） 14:00開演	ウェルカム・コンサート 全席指定 大人：2,000円 シニア：1,800円（65歳以上） 子ども：1,000円（4歳～中学生） 家族ペア割：2,500円 （大人＋子ども or シニア＋子ども） ※鑑賞サポートあり
--	--------------------	---

○「こどもフェスタ 2025春」

●こどもの日オープンハウス オープンハウス、パイプオルガンミニコンサート 等	5月5日（月祝）	
---	----------	--

○「みんなのオルガン」

●オルガンツアー パイプオルガンのコンサート後、オルガンの説明・紹介と演奏体験	年数回	無料
●わたしもほくもオルガニスト パイプオルガン長期レッスン発表会	5月5日（月祝）	無料

○「創発プログラム」

●創発プログラム（ワークショップ 他）	複数回	無料
---------------------	-----	----

○「春／夏休みスペシャル！ランチタイムコンサート＆ワークショップ」

4歳から入場いただけるコンサートとワークショップを同時開催	8月19日（火） 2026年 3月30日（月）	調整中
-------------------------------	-------------------------------	-----

【音楽ホール以外】

◆音楽工房を活用した事業

●MUZA ミュージック・カレッジ(市民交流室) 音楽の“面白さ”を探求する大人のための音楽の授業	複数回	未定
--	-----	----

◆施設を活用した事業

●東響ミニコンサート in MUZA ミュザビル内において、オフィス棟に勤める人や店舗利用者、乳幼児を含む親子連れなどに向けて、ホールとフランチャイズオーケストラをPRする機会として、東響メンバーによるミニコンサートを歓喜の広場にて開催。	全6回 4月23日(水) 5月19日(月) 6月24日(火) 9月8日(月) 11月17日(月) 2026年 3月6日(金)	無料
--	---	----

◆文化施設・企業・商業施設や教育との連携

●こどもフェスタ 2025春 MUSIC×ENGLISH！音のワークショップ(市民交流室)	5月5日(月祝)	500円
●ミュザの日(前掲)	7月1日(火)	
●ジュニア・プロデューサー(ミュザの日関連企画)	4月4日(金) ～6月30日(月) 計8回	参加無料 7月1日公演は有料500円 その他、振り返り(9/28(日))

◆パラムーブメントの推進

●ボプリ・コンサート (訪問予定校)調整中	9月予定	無料
●第21回 ジェイミーのコンサート(市民交流室) ホールアドバイザー小川典子氏による自閉症児・障がい児の家族を応援するコンサート	4月3日(木) 11:00開演	全席自由 4,000円
●セミナー&ディスカッション	1回	

◆人材育成事業

●若手音楽家育成事業 フェスタサマーミュザKAWASAKI2025期間前、歓喜の広場にて実施	7月23日(水) 24日(木) 25日(金) 12:10開演	無料
●インターンシップ事業(大学等との連携・インターン等)	随時	
●音楽大学オーケストラ・フェスティバル(前掲)	11月、3月	
●セミナー&ディスカッション(前掲)	1回	
●教育機関との連携事業(教職員研修 等)	8月予定	
●わたしもぼくもオルガニスト ・長期レッスン:前年度より継続事業 ・短期レッスン	・長期レッスン 今年度3回 発表会1回 (前掲) ・短期レッスン レッスン2回 発表会1回 大オルガン体験 1回	参加費 長期レッスン:33,000円 短期レッスン:3,300円
●リトルミュザ	年間10回程度	

◆アウトリーチ事業

●東京交響楽団 特別演奏会 グリーン・コンサート 指揮:キンボー・イシイ/チェロ:笹沼樹/管弦楽:東京交響楽団 会場:昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショウワ ドヴォルザーク:スラブ舞曲より、チェロ協奏曲、交響曲第9番「新世界」	5月6日(火・振) 15:00開演	S:5,500円 A:4,500円 B:3,500円 U25:2,000円
●フェスタサマーミュザKAWASAKI 2025 出張サマーミュザ@しんゆり		
●ボプリ・コンサート(前掲)	前掲	無料

令和7年度川崎市アートセンター事業計画案（小劇場）

	年 月	事業分類	分 野	アーティスト	公 演 名	概 要
1	7 年 4 月	鑑賞事業	演劇	構成・演出：ふじたあさや 音楽・出演：中野亮輔（青年座） 出演：加来梨夏子（民藝）、八代名菜子（青年劇場）	小劇場×映像館コラボレーション企画 vol8「新美南吉になりたかった正八〜南吉とキツネたち〜」	川崎・しんゆり芸術祭 2025 のラインナップとして上演。「ごんぎつね」の作家である新美南吉について、アニメーション映画「GON The little fox」と彼の文学作品を通して、29 歳で早逝した南吉の人物像に迫る。
2	7 年 5 月	鑑賞事業	演劇	演出：くすのき燕（人形芝居燕屋） 出演：大沢愛	インクルーシブ・ベイベーシアター「かぜのうた」	川崎・しんゆり芸術祭 2025 のラインナップとして上演。ベイベーシアターネットワークの協力によりリラックス公演（障がいや配慮の必要なお子さん対象公演）も含めて実施を予定。
3	7 年 5 月	鑑賞事業	演劇	作：あまきみこ 脚本：ふじたあさや 演出：八代将弥（16 号室）	総合劇集団俳優館 「車のいろは空のいろ」	川崎・しんゆり芸術祭 2025 ラインナップとして上演。あまきみこ氏のロングセラー絵本の舞台化。 演出に名古屋で活躍する若手演出家を迎え、家族で楽しめる舞台をお届けします。対象は小学生。
4	7 年 6 月 ～8 年 3 月	鑑賞事業 連携事業	演芸	初音家左橋 一玄亭米多朗 毎月ゲストあり	「しんゆり寄席」 年 5 回	川崎南部・ブラザソルの「ラゾーナ寄席」、北部の「しんゆり寄席」と南北同時に平成 24 年度にスタートした年 5 回の定番企画。毎回、世話人 2 名含め真打 3 名が出演。抽選会も開催します。
5	7 年 6 月 ～8 年 3 月	鑑賞事業 連携事業	コンサート	田辺充邦（G）、佐瀬正（B）、右近茂（T-SAX）などを中心にプログラム	「しんゆりジャズスクエア」 年 5 回	平成 24 年度に生まれた年 5 回のジャズコンサート。地元・昭和音楽大学とのコラボレーション企画なども取り入れて、プログラムの幅を広げています。11 月公演はかわさきジャズの連携企画とします。地元タウン誌を発行するエリアブレインと共に実施。
6	7 年 7 月	鑑賞事業	演劇	出演：Tiny Dancer（デンマーク）	親子で楽しむ夏時間 2025 「GR0」（グロウ）	夏休みの時期に親子で楽しめる質の高い児童・青少年演劇の鑑賞機会を提供。国内外の児童劇を集めるりっかりっかフェスティバル（沖縄）と連携し、ノンバーバル（セリフに頼らない表現）の作品等、家族で楽しめる作品選定を行います。今年度は成長することを祝うダンス作品「GR0」を上演。
7	7 年 7-8 月	創造発信交流 事業	ワーク ショップ	講師：ふじたあさや、河田園子、 原田亮ほか	夏休みワークショップフェス ティバル 2025	劇場空間を使い、幅広い年齢層が参加できるワークショップを開催。ミュージカル WS とことば WS を開催予定。演劇体験だけではなく、演劇をツールとして活用し、相互理解や助け合いの心を育む時間を提供します。
8	7 年 10 月	鑑賞事業	演劇	原作：太宰治 脚本・演出：五戸真理枝 （文学座）	しんゆりシアター 「人魚の海〜新釈諸国断より〜」（仮題）	ミュージカルとストレートプレイを交互上演するしんゆりシアターの企画。令和 7 年度は太宰治「新釈諸国断」から作品を選定。井原西鶴の著作を取材し太宰独自の趣向を凝らした短編集から幅広い世代で楽しめる新作を創作。
9	7 年 12 月ほか	創造発信交流 事業	演劇	作・演出：ふじたあさや	しんゆりシアター劇団わが町 「和が町へ」（仮題）	市民劇団・劇団わが町公演。川崎市制 100 年を目指し、「わが町川崎を知る」をテーマに活動してきた。令和 7 年度は関東大震災時、川崎に残された歴史秘話を題材に新作を上演予定。劇団員の事前学習、出演やスタッフワークまで及ぶ活動は舞台芸術へのより深い理解となります。
10	通年	創造発信交流 事業	アウトリー ーチ	講師：河田園子、森山蓉子ほか サポート：劇団わが町	しんゆりアウトリーチ	劇場を飛び出し、文化芸術を届けるべく、体験型アウトリーチ等を開催。ワークショップで国内外での実績のある講師陣と劇団わが町のメンバーが掛け合っていきます。学校内の友達づくり、演劇部の演劇スキルの向上と多彩な企画を展開しています。
11	8 年 2 月 （調整中）	創造発信交流 事業	WS	講師：原田亮、ふじたあさや他	ライフ×イロドリ 「しんゆり ART LABO」	劇団わが町とは異なるコンパクトな演劇体験。平日の稼働の少ない劇場を利用して、気軽に演劇と出会いたい大人のみなさんをつなぎます。
12	8 年 3 月	創造発信交流 事業 連携事業	演劇	川崎市高等学校演劇研究会との共催	高校演劇フェスティバル	麻生区のみならず、川崎市内の舞台芸術の発表の場として日頃の成果を地域の方々に披露、芸術のまちづくりに寄与したいと考えます。
13	7 年 11 月	特定事業	映画	KAWASAKI アーツとの共催	KAWASAKI しんゆり映画祭	令和 7 年度に 31 回目を迎える KAWASAKI しんゆり映画祭は、市民ボランティアによって運営。アートセンターをメイン会場として使用。特定事業として運営協力を行います。
	通年 地域の劇団、カンパニー、大学・高校の演劇部などと連携し、「しんゆり・芸術のまち」の拠点として相応しい事業を進めます。 アルテリオ小劇場の広報宣伝活動に努め、貸館利用の促進を図ります。					

令和7年度 川崎市アートセンター事業計画案(映像館)

事業名		実施時期	企画名	概要
映画上映事業 (コミュニティシネマ)	①新作上映	通年		ロードショー公開や新作・秀作上映(月10～12本程度)
	②名画上映	通年		国内外の優れた旧作映画の上映
	③副音声ガイド付き上映、日本語字幕付き上映	通年	バリアフリーシアター	視覚障害者向けの副音声ガイド付き上映(UDCastなど含む)、聴覚障害者向け日本語字幕付き上映。年5～6作品
	④保育付き上映	通年	バリアフリーシアター	映画鑑賞中に、2～5歳の幼児をお預かりする。年12作品
	⑤フレンドリー上映	不定期	バリアフリーシアター	障がいのある方や小さいお子様連れの方にも気兼ねなく映画をご覧いただくために、通常より明るめの照明で出入りしやすい環境で上映する。
	⑥映画タイムマシン	夏休み	日本映画の鑑賞とワークショップ	鑑賞する機会の少ない日本映画を35mmフィルムで上映する。開催中は内容に合わせたワークショップを行い、映像文化に触れる機会を提供する。
	⑦放課後シアター	通年		中学・高校生を対象とした、トークやワークショップ付き上映
	⑧企画・特集上映	通年	映画ファン向け特集上映	上映機会の少ない監督や国・地域の作品の特集上映
	⑨上映支援・コミュニティ上映	通年		地域や団体・個人が企画制作した優れた作品の上映支援 地域や団体からの提案に基づく上映及び団体鑑賞、上映会のサポート
	⑩団体鑑賞	通年	各種団体による鑑賞	学校、PTAや子ども会、老人施設ほか地域の団体や近隣大学などによりかけ、鑑賞を推進
	⑪コミュニティシネマセンターとの協働	不定期	Fシネマ・プロジェクトや特集上映・巡回企画への参加	フィルムでの上映環境を保持するためのFシネマ・プロジェクト、および各種作品の特集上映・巡回企画に参加
文化創造事業	①ゲストトーク・講座・イベント	通年	映画のスタッフ・キャストや評論家による舞台挨拶などのトーク、講座、イベント	上映作品やその背景に関連した監督・俳優・評論家等による作品解説、イベントや舞台挨拶等の開催
	②子ども向けワークショップ	夏休み 春休み	アニメーション、ピンホールカメラ、映画制作、映画音楽、映画活弁	制作者などの第一人者を講師に迎えたワークショップ
	③映画・映像制作	秋～冬(10回程度)	3分間ビデオ制作入門講座	ドキュメンタリー制作者を講師に、撮影・編集の基本的な技術を身につけるワークショップ
	④副音声ガイド制作	年2～3作品	映画の副音声ガイド制作	目の不自由な方のための副音声ガイドを年2～3作品制作
共催・連携事業	①KAWASAKILしんゆり映画祭	秋	第31回KAWASAKILしんゆり映画祭開催	NPO法人KAWASAKIアーツによる、KAWASAKILしんゆり映画祭を共催
	②川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)	4月末～5月初旬	川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2025	川崎・しんゆり芸術祭公演の賛助企画を中心とした企画上映を日本映画大学などと協働して開催
	③日本映画大学	4月末～5月初旬		上映企画者養成講座で選ばれた優秀企画の実施・運営(共催)
	④映像のまち・かわさき	通年		映像のまちかわさき推進フォーラムと連携した映像文化の発信
鑑賞事業	①映画に関する企画展示	適宜実施		ロビーやコラボレーションスペースを活用し、映画史や上映作品に連動した企画展示を行う。
	②映画の芸術教育	秋～冬		小・中・高校生に学校またはクラス単位で映画を鑑賞し、優れた映画作品の鑑賞や監督やスタッフの話を聞くことで、豊かな情操と高い映像理解能力(リテラシー)を育む芸術プログラムを実施
制作事業支援	映画映像・制作支援	通年		試写会、市民団体の上映会、大学などの教育機関で制作された作品の上映会などの、会場の貸出を行う。
シネマ会	会員の拡大	通年		会員システムの告知とサービスの充実により会員を拡大
広報・宣伝事業	シネマ・ニュースの発行、パブリシティ展開、ウェブの活用	通年	シネマニュース(月刊)の発行 新聞・地域メディア・専門誌などでの情報発信 ホームページやウェブ、ツイッターでの情報発信 神奈川県内のミニシアターとの協力による広報活動	シネマニュース:上映作品紹介、イベント情報などを掲載し、毎月制作発行 地域情報誌や専門誌などへの広報の充実 ホームページやメールマガジンの充実、SNSの活用 横浜市をはじめとした県内のミニシアターと、定期的に会議を行い、広報やイベントの協力をはかる

令和 7 年度 川崎市アートセンター 特定事業

年 月	分野	アーティスト等	公 演 名	概 要
令和 7 年 10 月～11 月	映画	NPO法人KAWASAKI アーツとの共催	KAWASAKI しんゆり映画祭	31 回目を迎える KAWASAKI しんゆり映画祭は、市民ボランティアによる運営で、川崎市アートセンターを無料で提供するほか、ボランティア研修をはじめ、企画・計画段階から助言や支援をすることで、地域に根差した映画祭をとともに盛り上げています。
令和 7 年 4 月～5 月	総合芸術	芸術の各分野で活躍するアーティスト・著名人	川崎・しんゆり 芸術祭 2025	今回で 17 回目の開催となり、市内外から毎年 2 万人を超える方に来場いただいています。公演制作は、地元の実演芸術団体である日本オペラ振興会、和太鼓梵天等、同じく地元の芸術系大学の昭和音楽大学、日本映画大学等の地域のリソースと連携して行っています。公演は、新百合ヶ丘駅周辺の施設を中心に多摩区などでも開催し、アウトリーチ公演も実施します。川崎市アートセンターは、実行委員会の庶務・調整機能を担当しています。
令和 7 年 6 月 ～ 令和 8 年 3 月	講義	講師：舞台芸術の幅広いジャンルの著名人	アートボランティア育成事業「アート講座」 つながる×つなげる～芸術＋ひと＋まち～プログラム	アートマネジメントに必要なノウハウを習得することで、芸術のまちを支える地域ボランティアの育成・発掘を目指す取組です。アートセンターが持つ劇場と映像館という資源を活用して、ボランティアに必要なスキルを高めるための実技と講義を行います。

■川崎・しんゆり芸術祭2025～アルテリッカしんゆり～公演一覧【会期：4月6日（日）～5月11日（日） 演目公演数：30 演目40公演】

※ネット先行販売日：1月17日（金）10:00～1月24日（金）23:59（受付方法：Web）

※一般発売日：2025年1月31日（金）09:00～ 開始時間は各窓口の販売開始時間に準ずる

別紙4

演目		日程	開演	公演名	ジャンル	会場名	主催
1	1	4月6日(日)	13:00	〈ブレ公演〉2025 若きアーティストたちの響演	ミュージカル	昭和音楽大学 スタジオ・リリエ	昭和音楽大学同協会
	2		17:00	ミュージカル・スプリング・ライブ ～昭和音楽大学同協会とともに～			
2	3	4月12日(土)	16:00	〈ブレ公演〉2025若きアーティストたちの響演 ジャズ・ポピュラーライブ ～昭和音楽大学同協会とともに～	ジャズ・ポピュラー	新百合トウェンティワンホール	昭和音楽大学同協会
3	4	4月19日(土)	14:00	〈未来づくりコンサート Vol.7〉～ソリスト～と指揮者の丁々発止～ 大谷康子（ヴァイオリン）＆大井駿（ピアノ）	クラシック	昭和音楽大学 ユリホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
4	5	4月20日(日)	13:00	アルテリッカ・アカベラ昭和歌謡祭 リストラズ＆山本祐歌（司会＆ソプラノ）	歌謡曲	麻生市民館 大ホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
5	6	4月20日(日)	15:00	〈アルテリッカしんゆり2025オープニング公演〉 特別ピアニストシリーズ 第2回 ～横山幸雄を迎えて～	クラシック	昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ	アルテリッカしんゆり実行委員会
6	7	4月26日(土)	14:00	藤原歌劇団公演「ロメオとジュリエット」	オペラ	昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ	公益財団法人日本オペラ振興会
	8	4月27日(日)	14:00				
7	9	4月26日(土)	①11:00	The Pianists(ザ・ピアニスト)ー超進化形ー	クラシック	昭和音楽大学 ユリホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
	10		②13:00	①本堂綾哉			
	11		③15:00	②古海行子 ③入江一雄			
8	12	4月27日(日)	14:00	奄美の黒うさぎコンサートVol.4 萩原かおり、辻孝幸、里アンナ、伊是名の会他	クラシック/ミュージカル /伝統芸能	麻生市民館 大ホール	奄美の黒うさぎコンサート 実行委員会
9	13	4月27日(日)	17:00	情熱の嵐 フラメンコの世界	フラメンコ	新百合トウェンティワンホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
10	14	4月29日(火・祝)	11:00	川崎市アートセンター小劇場×映像館コラボレーション企画vol.8	映画/その他	川崎市アートセンター 小劇場	公益財団法人川崎市文化財団 川崎市アートセンター
	15		15:00	「きつねの話～新見南吉ときつね～」			
11	16	4月29日(火・祝)	15:00	国府弘子のPiano Party～美川憲一さんを迎えて～ ジャズ、シャンソン、昭和の名曲を一緒に	ジャズ、歌謡曲、シャン ソン	麻生市民館 大ホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
12	17	4月30日(水)	13:00	映画祭 in しんゆり2025 市川崑総監督「東京オリンピック」（1964年）	映画	昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ	アルテリッカしんゆり実行委員会
13	18	5月1日(木)	14:00	藤原歌劇団Quattro Aria スプリングコンサート2025	クラシック	昭和音楽大学 ユリホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
14	19	5月1日(木)	10:00	映画祭 in しんゆり2025 岡本喜八監督「江分利満氏の優雅な生活」（1963年）	映画	川崎市アートセンター 映像館	アルテリッカしんゆり実行委員会
15	20	5月2日(金)	10:00	映画祭 in しんゆり2025 今村昌平監督「人間蒸発」（1967年）	映画	川崎市アートセンター 映像館	アルテリッカしんゆり実行委員会
16	21	5月2日(金)	18:00	THE JAZZ AVENGERS Live 2025 ザ・ジャズ・アベンジャーズ	ジャズ・フュージョン・ ファンク	新百合トウェンティワンホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
17	22	5月3日(土・祝)	15:00	昭和音楽大学音楽芸術運営学科 アートマネジメントコース企画制作演習企画公演Vol.1 平和をうたう～生きつづける被爆ピアノが伝えたいこと～	クラシック その他（朗読、合唱他）	昭和音楽大学 ユリホール	昭和音楽大学音楽芸術運営学科 アートマネジメントコース
18	23	5月3日(土・祝)	11:00	インクルーシブ・ペイパーシアター「かぜのうた」 一般公演 ＊全曲オリジナル/休憩なし/上演時間35分	演劇/音楽 子ども向け	川崎市アートセンター 小劇場	公益財団法人川崎市文化財団 川崎市アートセンター
	24		14:00	インクルーシブ・ペイパーシアター「かぜのうた」 リラックス公演			
	25	5月4日(日)	11:00	インクルーシブ・ペイパーシアター「かぜのうた」 一般公演			
19	26	5月3日(土・祝)	14:00	人間国宝の競演～友枝昭世と山本東次郎の至芸～	伝統芸能	麻生市民館 大ホール	公益財団法人川崎市文化財団
20	27	5月4日(日)	15:00	トリオ・リベルタ コンサート 『クラシック・ファンタジー』 石田泰尚（ヴァイオリン）、中岡太志（ピアノ）松原孝政（サクソフォン）	クラシック	昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ	アルテリッカしんゆり実行委員会
21	28	5月4日(日)	14:00	アルテリッカ演芸座 ニツ目落語会 柳家小はげ、柳亭一若、桂筈丸、立川寸志、立川ういん	演芸（落語）	新百合トウェンティワンホール	公益財団法人川崎市文化財団 新百合トウェンティワンホール
22	29	5月4日(日)	15:00	オペラシアターこんにゃく座 オペラ『あん』 ＊休憩なし/上映時間100分	オペラ/ミュージカル	多摩市民館 大ホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
23	30	5月5日(月・祝)	10:30	子どものための音楽ショータイム	クラシック 子ども向け 0歳～未就学児	昭和音楽大学 ユリホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
	31		13:00		クラシック 子ども向け 小学校低学年		
24	32	5月5日(月・祝)	16:30	和太鼓 梵天 コンサート2025 「いぶき」	その他（和楽器）	川崎市麻生市民館 大ホール	アルテリッカしんゆり実行委員会
25	33	5月5日(月・祝)	14:00	アルテリッカ演芸座 昭和の演芸お好み寄席 一玄亭米多朗、はたけんじ、神田紅、ねづっち、 マジシャン小梅、三遊亭げん馬	伝統芸能/演芸(落語)	新百合トウェンティワンホール	公益財団法人川崎市文化財団 新百合トウェンティワンホール
26	34	5月6日(火・振)	15:00	東京交響楽団 グリーンコンサート キンボー・イシイ(指揮)、笹沼樹(チェロ)	クラシック	昭和音楽大学 テアトロ・ジューリオ・ショウワ	公益財団法人川崎市文化財団 ミュゼ・川崎シンフォニーホール
27	35	5月6日(火・振)	14:00	アルテリッカ演芸座 五街道雲助・初音家左橋 落語二人会	演芸（落語）	新百合トウェンティワンホール	公益財団法人川崎市文化財団 新百合トウェンティワンホール
29	37	5月10日(土)	14:00	総合演劇集団俳優館 「車のいろは空のいろ」	児童・青少年演劇 推奨年齢 小学生以上	川崎市アートセンター 小劇場	公益財団法人川崎市文化財団 川崎市アートセンター
	38	5月11日(日)		スターダンサーズ・バレエ団公演 「コッペリア」全3幕			
30	39	5月10日(土)	14:00	劇団民藝公演 ～ローズのジレンマ～ （櫻山文枝、桜井明美、神敏将、篠田三郎）	演劇	川崎市アートセンター 小劇場	劇団民藝
	40	5月11日(日)	14:00				

令和7(2025)年度東海道かわさき宿交流館 企画展

	期 間	展 示 名
1	3月4日(火)～5月6日(火・祝)	懐かしき昭和の店先展
2	5月13日(火)～6月29日(日)	佐藤惣之助展
3	7月～9月(日程未定)	未定
4	10月～12月	未定
5	1月～3月	未定

江戸時代の粋に遊ぶ				
第62回	4月19日(土)	「津軽三味線」	出演者:佐藤史織、小林美優	料金:1,500円
第63回	11月15日(土)	「(内容未定)」	出演者:未定	料金:1,500円
第64回	2026年 1月17日(土)	「(内容未定)」	出演者:未定	料金:1,500円
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

街道シリーズ講演会				
第41回	5月17日(土)	「(内容未定)」	講師:未定	料金:無料
第42回	3月14日(土)	「(内容未定)」	講師:未定	料金:無料
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

前座・二つ目 お昼の落語				
第34回	5月28日(水)	「第34回 お昼の落語」	出演者:未定	料金:無料 ※往復はがき
第35回	9月24日(水)	「第35回 お昼の落語」	出演者:未定	
第36回	12月17日(水)	「第36回 お昼の落語」	出演者:未定	
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

講談de交流				
第29回	4月16日(水)	「第29回 講談de交流」	出演者:二つ目 田辺一記 前座 神田オリビア	料金:無料 ※往復はがき
第30回	7月16日(水)	「第30回 講談de交流」	出演者:未定	
第31回	11月19日(水)	「第31回 講談de交流」	出演者:未定	
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

東海道かわさき宿寄席～アマチュア名人会～				
第16回	6月15日(日)	「第16回 アマチュア名人会」	出演者:アマチュア落語会「むさしいつかは名人会」「かながわ楽笑会」「笑吉社中」等の関係者	料金:無料 ※往復はがき
第17回	10月19日(日)	「第17回 アマチュア名人会」		
第18回	2026年 2月15日(日)	「第18回 アマチュア名人会」		

※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。